

# 「世界の諸地域 アフリカ州」 甘いチョコレート 苦い現実 ～資源が豊富なのに、なぜアフリカの人々は貧しいのだろうか～

本単元で育成する資質・能力

表現力，コミュニケーション能力，主体性

- 1 日時 令和2年9月18日 13:00～13:50
- 2 学年 第1学年3組 (男子14名 女子17名 合計31名)
- 3 場所 新館1F 1年3組教室
- 4 単元について

## ○ 単元観

本単元は、中学校指導要領 地理的分野(1)世界の様々な地域(ウ)世界の諸地域「世界の諸地域について、以下の(ア)から(カ)の各州に暮らす人々の生活の様子を的確に把握できる地理的事象を取り上げ、それを基に主題を設けて、それぞれの州の地域的特色を理解させる。(ア)アジア(イ)ヨーロッパ(ウ)アフリカ(エ)北アメリカ(オ)南アメリカ(カ)オセアニア」を受けて設定されている。

この単元は、アフリカ州の自然環境、文化と歴史、産業と経済を支える輸出品などについて学ぶ中で、「アフリカ諸国の主要生産品、主要国の経済状況と生産物、貿易の様子、主要生産品とアフリカに暮らす人々の生活との関連、旧宗主国など先進国との結び付きなどを追究する」ことにより、「アフリカの脆弱な経済基盤とその理由を明らかに」し、アフリカ州の地域的特色を理解させる構成となっている。

## ○ 生徒観

本学級の生徒は、小学校第6学年「世界の未来と日本の役割」の小単元において、アフリカ州の国々の中には紛争や貧しさが原因で困っている人がたくさんいることを学習している。中学校では「地球の姿」の単元において、アフリカ諸国の国境が、緯線・経線を利用して国境線を引いたため、直線的になっていることなどを学習している。

また、事前に実施したアンケートでは、日本の中学生がなぜアフリカ州のことを学ばなければならないのかという質問に対して、「世界の各地について学び交流を深めるため」や「互いの文化を理解しあうことが大切だから」、「受検の時に必要だから」など、何かしら学ぶ必要性を感じてはいる。

しかし、実際に生徒がアフリカ州に対して持っているイメージは、「ジャングルが多い、緑が多く自然が豊か」や「砂漠がたくさんありそうで、あまり水がなさそう」、「動物と人間がいっぱいいる」、「あまり豊かではなく、困っている人が多いようなイメージを持っている」、「少し怖い。治安が悪そう」などと、決してイメージ豊かではない。さらに言えば、アフリカ州は日本から遠く、中学1年生にとって身近な地域とはいいいがたいと考えられる。

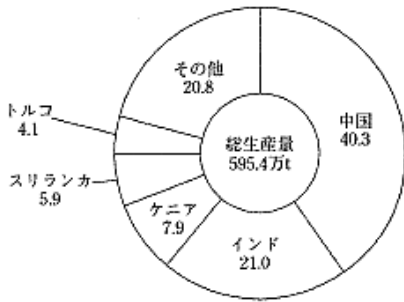
事前に挑戦したアフリカ州の地域的特色を理解して解答する「令和2年度 広島県公立高校入試問題」の正答率は31%であった。誤答率が31%、無答率も31%であり、学習の前段階として、アフリカ州の地域的特色についてはあまり理解していない生徒が多いといえる。

## 令和2年度 広島県公立高校入試問題

- 4 次郎さんは、世界の茶の生産と消費のかかわりについて興味をもち、世界の茶の消費量を上位5か国まで調べ、次の表Ⅲを作成しました。次郎さんはグラフⅡと表Ⅲを見て、ケニアは、茶の生産量は3位で多いが、消費量が5位までに入っていないことに疑問をもちました。ケニアは、茶の生産量は多いのに、消費量が少ないのはなぜだと考えられますか。その理由を、「商品作物」の語を用い、ケニアの経済の特徴に触れて簡潔に書きなさい。

グラフⅡ

茶の生産量の国別割合 (%)  
(2016年)



(世界国勢図会 2018/19年版による。)

表Ⅲ

茶の消費量 (2014~2016年の平均値)

順位	国	消費量 (万 t)
1	中国	179.1
2	インド	94.7
3	ロシア	25.7
4	トルコ	24.7
5	アメリカ	13.0

(静岡県茶業の現状、データブック オブ・ザ・ワールド) 2019年版による。

問題番号	正 答 [例]	採点上の注意	配点
4	商品作物の輸出による収入に頼る経済となっているため。	内容を正しく捉えていれば、表現は異なってもよい。	3

### ○ 指導観

指導に当たっては、単元の導入部においてICT等を活用し、意外にアフリカ州との関連が身近なものに多いことなど、生徒の既存の知識とのギャップを生み出しながら、「資源が豊富なのに、なぜアフリカの人々は貧しいのだろうか」という単元を貫く問いを設定する。生徒の中に「なぜだろう」「答えが知りたい」という、強い問題意識と達成欲求を抱かせる課題設定を行い、単元を通して生徒が学びたい、解決したいと思えるように意欲付けることで、生徒の「主体性」を伸ばしたい。そして、単元を貫く問いの背景や要因を追究する活動を通して、アフリカ州の地域的特色を理解する力を育てたい。

本時の指導では、設定した単元を貫く問いに対して、複数の資料を読み取り、情報を集め考察する場面を設ける(個人思考)。原因をランキング形式でまとめることで、思考を整理することができ、その生徒なりのアフリカ州が持つ貧しさに対するイメージが捉えられると考える。

その後、少人数班で、読み取った情報を根拠に、単元を貫く問いに対する仮説(生徒なりの予想)を立てさせる(話し合い活動)。複数の資料を関連付けながら、根拠を明確にして述べることで、本校が目指している「コミュニケーション能力」「表現力」の育成を図る。

出された仮説について、自分たちと同じ意見を見つけたり、異なる意見や疑問に思ったことに対して質問するなどの話し合い活動(全体討議)を通して、それぞれの意見に対する理解を深めさせる。話し合い活動後、改めての自分の考えを整理させる(一次判断)とともに、今後の学習に対する見通しを持たせる。

そして、単元を通して学習を重ね、最終的には、理解した地理的事象を再構成し説明する活動を通して、具体的な根拠を示しながら、アフリカ州の地域的特色の背景や要因の関連を解釈し、表現することができるようにしたいと考える(二次判断)。

## 5 学校が育成を目指す資質・能力

本校が教育課程全体を通じて育成を目指す資質・能力は、「表現力、コミュニケーション能力、主体性」である。この目指す資質・能力を育成するためには、各教科・領域等の授業における「展開場面」において、生徒が主体的に活動している時間の質と量を高めることが重要である。更に、生徒が主体的に活動するためには、「強い問題意識と達成欲求を抱かせる課題設定」が不可欠であると考え、研究を重ねている。

本単元においても、本校では「強い問題意識と達成欲求を抱かせる課題設定」を行い、少人数班で考えを何度も練り直させ、思考したことをミニホワイトボードに表現した後全体へ発表させるスタイルをとっている。

資質・能力	知識・スキル			意欲・態度	
	授業の展開の場面で (ミニホワイトボード等を使用して)	表現力・コミュニケーション能力			主体性
レベル1		(話す speak) ○自分の考えや意見を、自分のことばで表現することができる。	(聞く) ○相づちを打ちながら、途中で口をはさまず、きくことができる。	(やりとり) ○話を聞いて質問することができる。	○課題に対して、自分の考えを持ち、取り組もうとしている。
レベル2		(話す tell) ○自分の考えや意見を根拠を挙げて、相手を意識しながら、適切な方法で表現することができる。	(聴く) ○相手の話の組み立てや構造を考え、話の意図や要点を整理しながらきくことができる。	(やりとり) ○話を聞いて、内容を深めるために質問ができる。	○課題に対して、自分の考えを持ち、自ら進んで取り組もうとしている。
レベル3		(話す talk) ○自分の考えや意見を、根拠を挙げて分かりやすくまとめ、目的や場に応じて、適切な方法で論理的に表現することができる。	(訊く) ○相手の考えについて、根拠の信頼性を判断しながらきき、話された内容と自分の意見をふまえて共通点や疑問点を明確にし、相手にたずねることができる。	(やりとり) ○話を聞いて質問をした後に、自分の意見を述べ、内容をさらに深めることができる。	○自ら課題を見つけ、自分の考えを持ち、よりよい方法を選択し、自ら進んで取り組もうとしている。
レベル4		自らが司会をして、少数意見を尊重しながら、臨機応変に対応し、話し合い活動ができる。			

## 6 単元目標

○ アフリカ州の地域的特色を理解し、「資源が豊富なのに、なぜアフリカの人々は貧しいのだろうか？」という問いに対して、自分の考えや意見を、根拠を挙げて分かりやすくまとめ、目的や場に応じて、適切な方法で論理的に表現することができる。

## 7 評価規準

社会事象への関心・意欲・態度	社会的な思考・判断・表現	資料活用の技能	社会的事象についての知識・理解
アフリカ州の地域的特色や「資源が豊富なのに、なぜアフリカの人々は貧しいのだろうか？」という問いについて、意欲的に追究し、捉えようとしている。	アフリカ州の産業が特定の生産品に頼っているという地域的特色について多面的・多角的に考察をし、その過程や結果を適切に自分の言葉で表現している。	アフリカ州の地域的特色に関する資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。	アフリカ州に暮らす人々の生活の様子を的確に把握できる主題を基に地域的特色を理解し、その知識を身に付けている。

8 指導計画（全9時間）

過程	次	学習内容（時数）	観 点				評 価	
			関意	思考	技能	知理	評価規準	資質・能力（評価方法）
課題の設定	1	アフリカ州に対する考えを深めよう （1時間） <b>【本時1／1】</b>	◎		○		アフリカ州の地域的特色や「資源が豊富なのに、なぜアフリカの人々は貧しいのだろうか」という問いについて、意欲的に追究し、捉えようとしている。 アフリカ州の地域的特色に関する資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。	<b>【表現力】</b> 【コミュニケーション能力】 （話し合い活動・発表） <b>【主体性】</b> （ワークシート） （授業への取組）
	単元を貫く問い（探究課題の萌芽） 資源が豊富なのに、なぜアフリカの人々は貧しいのだろうか？							
情報収集・整理・分析	2	アフリカ州の自然環境 （2時間）				◎	南北に長く面積の広いアフリカ州では、赤道からの距離によって多様な気候が見られることを理解できる。	<b>【主体性】</b> （ワークシート） （授業への取組）
	3	アフリカの文化と歴史 （1時間）			◎		さまざまな資料を活用し、ヨーロッパとのつながりが現在も残っていることを読み取ることができる。	<b>【主体性】</b> （ワークシート） （授業への取組）
	4	アフリカの産業と経済を支える輸出品 （2時間）		◎			アフリカ州でモノカルチャー経済が多く見られる理由やその問題点について整理し、適切に表現することができる。	<b>【表現力】</b> 【コミュニケーション能力】 （話し合い活動・発表） <b>【主体性】</b> （ワークシート） （授業への取組）
	5	自立をめざすアフリカの国々 （1時間）				◎	自立に向けたアフリカの自国の取り組みや他国からの支援の実態を理解し、その知識を身につけている。	<b>【主体性】</b> （ワークシート） （授業への取組）
まとめ・振り返り	6	学習をふりかえろう （2時間）		◎			単元を貫く問いに対して、話し合い活動を行い、自分の考えや意見を、根拠を挙げて分かりやすくまとめ、論理的に表現することができる。	<b>【表現力】</b> 【コミュニケーション能力】 （話し合い活動・発表） <b>【主体性】</b> （ワークシート） （授業への取組）
単元を貫く問いの終結 アフリカでは、植民地支配の歴史を未だに払拭できずに、その足かせに苦しんでいる人々がいる。そして、アフリカで作られているモノカルチャーによる製品を、日本も含めた世界中の国々が輸入している。自分たちの生活と、アフリカの人々の生活が実は密接に関わり合っているのである。アフリカの豊富な資源によって支えられている日本にとっても、アフリカの課題をしっかりと把握し、アフリカの発展のために力をつくすことは、アフリカのみならず日本の発展にとっても必要不可欠なのである。								

9 本時の展開

(1) 本時の目標

- 「資源が豊富なのに、なぜアフリカの人々は貧しいのだろうか？」という問いに対して、その背景や要因について、資料を根拠に、仮説を立てることができる。

(2) 本時の評価規準

アフリカ州の地域的特色や「資源が豊富なのに、なぜアフリカの人々は貧しいのだろうか」という問いについて、意欲的に追究し、捉えようとしている。【社会的事象への関心・意欲・態度】  
アフリカ州の地域的特色に関する資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。【資料活用の技能】

(3) 準備物

- ・教科書，P C，T V，ワークシート，資料，掲示物，ミニホワイトボード×8

(4) 学習の流れ（1時間目／全9時間）

学習活動	指導上の留意事項（◇） （◆「努力を要する」状況と判断した生徒への指導の手だて）	評価規準〔観点〕 ★資質・能力【評価方法】
<b>1 本時のねらいを確認する。〔2分〕</b>		
本時のねらいを確認する。  <div data-bbox="220 1115 1356 1240" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;">                         ねらい アフリカ州に対する考えを深めよう                     </div>	◇新しい単元に入ることを確認する。 ◇事前アンケートを使って、「なぜ私たち日本の中学生がアフリカ州のことを学ぶ必要があるの？」と考えさせる。 ◆事前アンケートを確認し、生徒の実態把握をしておく。	
<b>2 単元を貫く問い、本時の学習課題を設定する。〔8分〕</b>		
本時の学習課題を設定する。  <div data-bbox="60 1317 124 1379" style="border: 1px solid red; padding: 2px; font-size: small;">導入の工夫</div> <div data-bbox="60 1854 124 1917" style="border: 1px solid red; padding: 2px; font-size: small;">単元を貫く問い</div>	◇動画を使って、アフリカの風景を視覚的にイメージしやすくさせる。 ◇グラフを使って、世界の中のアフリカ州の位置づけを確認させる。 ◇身近なものの中にある日本とアフリカとのつながりを意識させる。 ◇既習事項（西アジアでは、資源を生かして経済発展している）を使って、アフリカの現状とのギャップを捉えさせる。 ◆ICT等を活用し、生徒が主体的に活動できるよう、「解決したい」或いは「達成したい」学習課題を設定するようになる。	
<div data-bbox="220 1854 1356 1998" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;">                         学習課題 資源が豊富なのに、なぜアフリカの人々は貧しいのだろうか？ ～その原因について、資料を根拠に、仮説を立てよう～                     </div>		

**3 情報を整理・分析し、課題解決をする。[20分（個人8分、グループ12分）]**

資料の説明を聞く。  
資料に何が書いてあるか読み取り、仮説を立てるために必要な情報を集め、考えをまとめる。【個人思考】

個人で考えたことをもとに、各班で課題解決のための仮説を立てる。【話し合い活動】

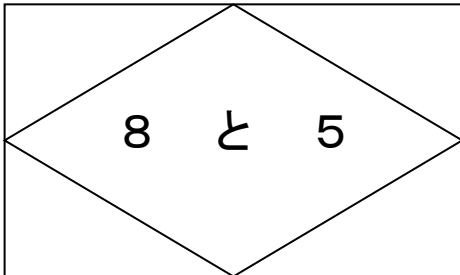
◇資料を活用することで、意見に根拠を持たせる。  
◇8つの資料から、アフリカの人々が貧しい理由について、より重要な原因を2つ選び、その組み合わせを選んだ理由を考えさせる。  
◆生徒が資料の意味を理解していないものについては、随時解説を加える。  
◇ホワイトボードに意見をまとめさせていく。  
◇8つの資料の中で、より重要な原因は何かを決定させる。  
◆他人と意見交流をすることで、自分の考えと比較し、理解を深めさせる。

アフリカ州の地域的特色に関する資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。  
〔資料活用の技能〕  
〔ワークシート〕  
★【表現力】  
【コミュニケーション能力】  
〔話し合い活動・発表〕

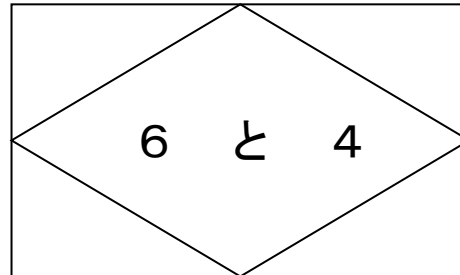
小グループの活用

予測される生徒の考え

A評価



B評価



思考を深める話し合い

**4 課題解決について思考を深める学び合いの場を設定する。[12分]**

掲示されたミニホワイトボードについて、書かれた理由に対する意見交流を行い、考えを深める。【話し合い活動（全体討議）】

◇自分達の班と同じ意見を見つけたり、異なる意見や疑問に思ったことに対して質問するなど、ホワイトボードに書いてあることに対して、理解を深めさせる。  
◆一方的な意見の言い合いにならないようにさせる。

**5 本時をまとめ、ふり返り、次時につなげる。[[8分]**

○まとめを書く。【個人思考】  
○ふり返りを書く。

◇8つの資料の中で、より重要な原因は何かを改めて個人で考えさせる。本時の最初に考えたことから、変化を見取る。  
◇本時をふり返り、発表（予想）された仮説を、さらに単元を通して追究していくことに触れ、次時につなげる。

アフリカ州の地域的特色や「資源が豊富なのに、なぜアフリカの人々は貧しいのだろうか」という問いについて、意欲的に追究し、捉えようとしている。  
〔社会事象への関心・意欲・態度〕  
〔ワークシート〕  
★【主体性】  
〔ワークシート・授業への取組〕

生徒の振り返りの例

・アフリカの人々が貧しい理由について資料から仮説を立てることができた。色々意見を聞いて、自分の考え方が最初とは変わった。本当の原因が何か知りたいし、アフリカ州の勉強も頑張りたい。

ねらいに対する評価規準を示すルーブリック（パフォーマンス評価）

尺度（評点・レベル）	記述語
A（理想的）	資料をつなげて、合理的根拠に基づき、その背景や要因を説明しながら、アフリカ州の地域的特色への自分なりの考えを構築できている。
B（合格）	資料をつなげて、合理的根拠に基づいて推理し、仮説を立てて説明しようとしている。
C（乗り越えさせたい実態）	主題となるアフリカ州に素朴な関心や疑問を持っているが、資料の読み取りができず、仮説を立てられていない。

(5) 板書計画

	単元名	ねらい	アフリカ州に対する考えを深めよう		
	世界の諸地域 アフリカ州	学習課題	資源が豊富なのに、なぜアフリカの人々は貧しいのだろうか？ ～その原因について、資料を根拠に、仮説を立てよう～		
		6 と 7	6 と 4	8 と 5	1 と 2
		1 と 4	1 と 8	4 と 3	4 と 6

授業当日

⇒ 単元終了後

まとめ（本時の学習課題に対する答えを自分なりの改めて整理してみよう）

アフリカの人々が貧しいことへの影響度ランキング

1	6	2	7		
3	7	4	4	5	1
6	5	7	2		
8	5				

影響度 ↑ ↓

最終的にこの2つの資料を選んだ理由  
小さい子がたくさんいるので、食べ物や食糧不足が関係しているかもしれないと思、たから

ふりかえり（授業で自分が成長した所、授業の感想、疑問点など）

自己評価 当てはまる所を○ ◎ とてもよく分かった、3: だいたい分かった、2: あまり分からなかった、1: 分からなかった

日本の生産は当然高い（安い）という事が分かった。安全な食べ物がある割合は日本はほとんど100%だがアフリカ州は70%なのでという事にも気づきました。食べ物不足に気づけました。

まとめ（アフリカの学習課題に対する答えを自分なりの改めて整理してみよう）

アフリカの人々が貧しいことへの影響度ランキング

1	8	2	5		
3	1	4	7	5	6
6	4	7	3		
8	2				

影響度 ↑ ↓

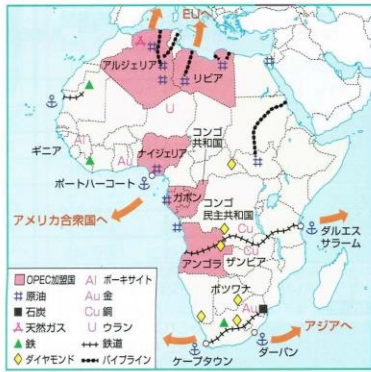
最終的にこの2つの資料を選んだ理由  
5は昔植民地に入っていた影響がまだヨーロッパの国が踏かれていますから、だからアフリカは貧しい原因が分かっていて、課題だから。

ふりかえり（授業で自分が成長した所、授業の感想、疑問点など）

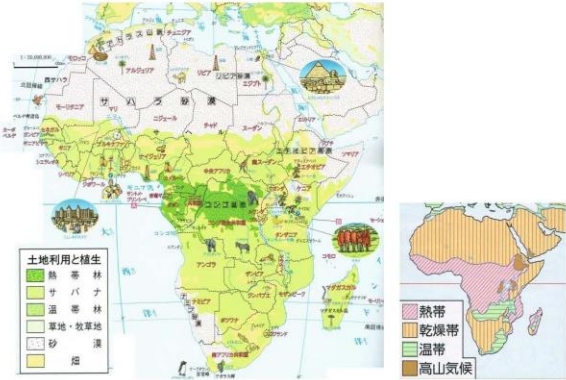
自己評価 当てはまる所を○ ◎ とてもよく分かった、3: だいたい分かった、2: あまり分からなかった、1: 分からなかった

毎1着初めにアフリカについて授業をした時に考えた資料を勉強したうえで考えてみた。その初め授業と違う意見が真実になった。下の順位は下物が1位、2位にたのに自分でも気づきました。理由も初めのころより、くまに関係性にかけたので良かったです。





資料1 鉱産資源の分布

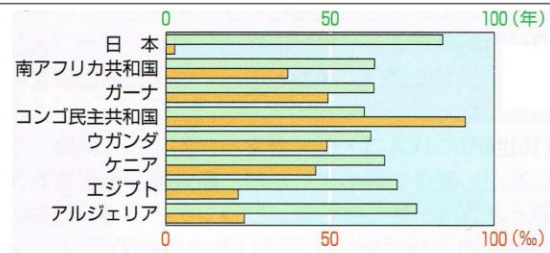


資料2 アフリカ州の自然

国	就学率(%)	
	男	女
マリ	59	52
ジブチ	61	54
エチオピア	89	82
ケニア	83	87
アメリカ	93	94
イギリス	100	100

(UNICEF 世界子供白書)

資料3 アフリカと世界のおもな国の初等教育(小学校)就学率(2011~16年)



(上めもり) 平均寿命(2016)

(下めもり) 5歳未満児の死亡率(2017)

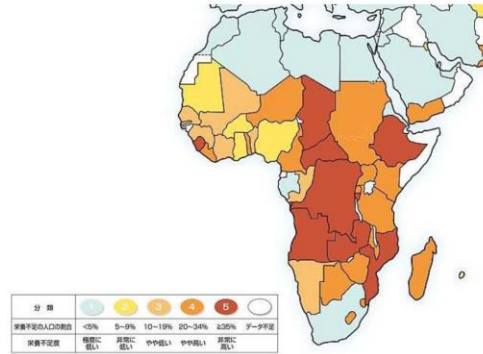
(1,000人のうち5歳未満で死亡する人数)

(WHO資料による)

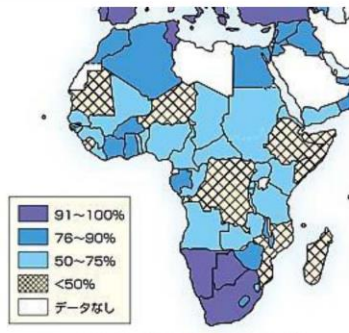
資料4 アフリカ諸国の平均寿命と乳児死亡率



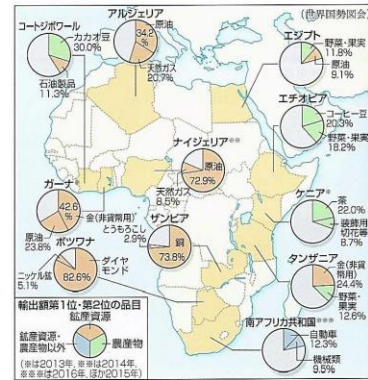
資料5 アフリカの言語分布



資料6 栄養不足度



資料7 安全な水が使用できる割合



資料8 おもな国の輸出品

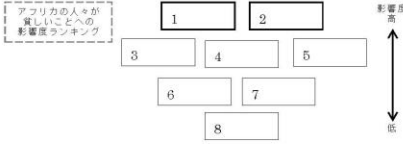


表

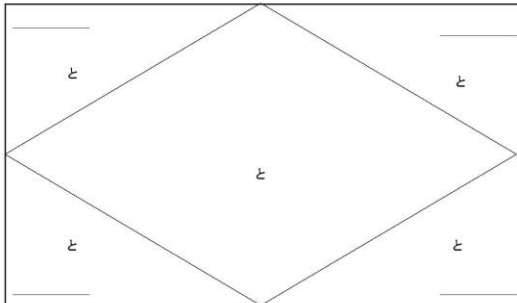
No. (令和2年度)  
 単元名「世界の諸地域 アフリカ州」 1年 組 番 名前 ( )  
 本時のねらい アフリカ州に対する考えを深めよう  
 学習課題 資源が豊富なのに、なぜアフリカの人々は貧しいのだろうか？  
 ～その原因について、資料を根拠に、仮説を立てよう～

話し合いMEMO

1) 個人で考えよう

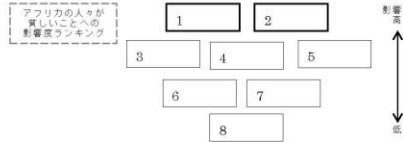


2) 個人で考えたことをもとに、各班で課題解決のための仮説を立てよう



この2つの資料を選んだ理由

まとめ (本時の学習課題に対する答えを自分なりの改めで整理してみよう)



最終的にこの2つの資料を選んだ理由

ふりかえり (授業で自分が成長した所、授業の感想、疑問点など)

自己評価 当てはまる所に○: 4:とてもよく分かった, 3:だいぶ分かった, 2:あまり分らなかった, 1:分らなかった

裏



たこ焼き	携帯電話	蚊取り線香	チョコレート(カカオ)	桃のジャム	化粧品
日本で消費されるタコの約60%が産地アフリカから産出しています。全モザンビークやモザンビークから輸入されています。	携帯電話などの機能機器にはレアメタルが大量に必要とされています。レアメタルの一つコバルトはコンゴ民主共和国やザンビアなどで採掘されています。	蚊取り線香に使われている殺虫剤はケニアやタンザニアなどの東アフリカから輸入されています。	チョコレートの原料であるカカオ豆の約70%は西アフリカに産出するガーナから輸入されています。他にもコートジボワール、ナイジェリアなどから輸入されています。	南アフリカ共和国から産出されるジャム(輸入額の19%)やフランス(輸入額の10%)などの果実加工品を輸入しています。他にエジプトなどからもジャムを輸入しています。	化粧品には鉛や汞を出すためにアフリカ産鉛が使われています。アフリカ産鉛は、スーダン、チャド、マリ、セネガルなどが産出されています。
ゴマはアフリカの原産とされており、多くの国で生産されています。アフリカの国々から日本に輸入されています。	日本は天然ガスをナイジェリアやエジプトから輸入しており、それらは火力発電の燃料として使われています。	南アフリカ共和国(輸入額の10.4%)やナイジェリア(輸入額の9.6%)からイセエビを輸入しています。	アフリカの産出はダイヤモンドの一大産出地であり、ボツワナ、コンゴ民主共和国、南アフリカ共和国などが有名です。	南アフリカ共和国から産出されるプラチナの約76%を南アフリカから輸入しています。他に産出地としてジンバブエなどが挙げられます。	アフリカのコーヒー生産国としては、タンザニアやモザンビーク、ケニアが知られており、日本ではモカやキリマンジャロといった名前が売られています。
青魚や鮭魚で使われているクロマグロは、北アフリカ(EUのクロマグロ)やアルジェリア、チュニジア)からも輸入されています。	日本はケニアやエジプトからバラを輸入しています。ケニア産のバラは輸入(バラの約20%)を占めています。	日本は中東だけでなく、スーダンやチャドなどアフリカからも石油を輸入しています。	バニラの原料となるバニラ豆の90%以上がマダガスカルから輸入されています。他にウガンダやセーシェルなどからも輸入されています。	近年、日本近海でワナギの産出量の減少が続いており、2012年にマダガスカルからアフリカ産ワナギの産出の輸入が開始されています。	ゲーム機などはボタンタイルというレアメタルが使われています。アフリカではエチオピア、ルワンダ、モザンビーク、コンゴ民主共和国などがタンタルの産出地です。

出典: JICA「日本-途上国 相互依存関係」  
 財源: 「貿易統計」  
 編集: 「貿易統計」(日本とアフリカ)